

事業番号	08 03 01	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要対応穀物生産強化事業			担当課	部局	農政部
					課・室	農業技術課
					E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	H18 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>○品質の高い米を生産するとともに、戦略作物(麦・大豆・そば)の導入促進を図り効率的な経営体の育成を目指す。</p> <p>○米の県オリジナル品種の導入を促進するとともに、食味・品質に優れた特徴のある米の作付け拡大を目指す。</p> <p>○麦・大豆・そばでは、加工適性が高い品種の導入を促進し、加工業者等から求められる生産を目指す。</p> <p>成果目標:実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積(H23:444ha→H29:1,750ha)</p>																																																
現状	<p>○国は「農業者戸別所得補償制度」を本格実施し、食料自給率向上と米の需給調整を推進しており、これらの施策への的確な対応が必要となっている。</p> <p>○本県においては、適期作業や基本技術の励行等による品質向上・良食味対策に努めた結果、農産物検査法に基づく1等米比率(水稲うるち・玄米)は全国トップクラスを維持している。しかし、近年は高温登熟や雑草イネ発生による品質低下が発生しており、対策が必要となっている。</p> <p>○麦、大豆、そばの生産振興は、食料自給率の向上を図る上で非常に重要であり、実需者ニーズ対応した麦・大豆・そば産地を育成し作付拡大を図るとともに高品質麦・大豆・そばの安定生産を確立する必要がある。</p>																																																
県が関与する理由	<p><input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有</p> <p>【左記の説明、根拠法令等】</p> <p>長野県の米穀類生産を、一層実需者ニーズに対応したものに誘導するため、県の関与が必要である。</p> <p>国庫補助等を有効活用しながら、米穀類の生産振興を行う県で実施するのが効果的である。</p> <p>長野県食と農業農村振興計画、(国)強い農業づくり交付金実施要綱等</p>																																																
事業内容	<p>① 成果目標(H24)</p> <p>○実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積 485ha (平成29年度の1,750haに向け、H24年度の目標面積を水稲新品種:10ha、麦・大豆・そば新品種:475haに設定)</p>																																																
	<p>② 事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H24事業実績</th> <th colspan="2">H24</th> <th>H25</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需要対応穀物地域体制整備事業交付金</td> <td>交付金</td> <td>農業用機械、乾燥調整施設等の整備</td> <td>403,075</td> <td>493,212</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>強い農業づくり交付金返還金</td> <td></td> <td>強い農業づくり交付金の返還</td> <td></td> <td>6,674</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>産地モニタリング事業交付金</td> <td>交付金</td> <td>カドミウムに対する植物浄化技術の実証等</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興</td> <td>直接</td> <td>(1)水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興 需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の樹立と生産体制の強化を図るための技術研修会・講習会の開催</td> <td>2,971</td> <td>2,230</td> <td>3,054</td> </tr> <tr> <td>畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興</td> <td>直接</td> <td>(1)農業者戸別所得補償制度を活用した畑作麦作付推進(研修会の開催 1回) (2)県産そば利用拡大推進事業 「県産そば振興協議会」の開催等により県産そばの需要拡大を図った。 (3)そば新品種振興事業(緊急雇用創出基金事業)そば新品種推進員の設置によりPRを行い、そば新品種の普及を図った。</td> <td>634</td> <td>1,436</td> <td>4,086</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>406,780</td> <td>503,652</td> <td>7,240</td> </tr> </tbody> </table>					項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25	(当初)	(決算)	(当初)	需要対応穀物地域体制整備事業交付金	交付金	農業用機械、乾燥調整施設等の整備	403,075	493,212	該当なし	強い農業づくり交付金返還金		強い農業づくり交付金の返還		6,674	該当なし	産地モニタリング事業交付金	交付金	カドミウムに対する植物浄化技術の実証等	100	100	100	水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興	直接	(1)水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興 需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の樹立と生産体制の強化を図るための技術研修会・講習会の開催	2,971	2,230	3,054	畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	(1)農業者戸別所得補償制度を活用した畑作麦作付推進(研修会の開催 1回) (2)県産そば利用拡大推進事業 「県産そば振興協議会」の開催等により県産そばの需要拡大を図った。 (3)そば新品種振興事業(緊急雇用創出基金事業)そば新品種推進員の設置によりPRを行い、そば新品種の普及を図った。	634	1,436	4,086	合計			406,780	503,652
項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25																																												
			(当初)	(決算)	(当初)																																												
需要対応穀物地域体制整備事業交付金	交付金	農業用機械、乾燥調整施設等の整備	403,075	493,212	該当なし																																												
強い農業づくり交付金返還金		強い農業づくり交付金の返還		6,674	該当なし																																												
産地モニタリング事業交付金	交付金	カドミウムに対する植物浄化技術の実証等	100	100	100																																												
水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興	直接	(1)水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興 需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の樹立と生産体制の強化を図るための技術研修会・講習会の開催	2,971	2,230	3,054																																												
畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	(1)農業者戸別所得補償制度を活用した畑作麦作付推進(研修会の開催 1回) (2)県産そば利用拡大推進事業 「県産そば振興協議会」の開催等により県産そばの需要拡大を図った。 (3)そば新品種振興事業(緊急雇用創出基金事業)そば新品種推進員の設置によりPRを行い、そば新品種の普及を図った。	634	1,436	4,086																																												
合計			406,780	503,652	7,240																																												

事業 コスト	区 分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越	0	121,000	554,640	7,335
	当初予算	1,093,692	180,176	406,780	7,240
	補正予算	△ 697,105	378,140	△ 372,846	
	合計(A)	396,587	679,316	588,574	14,575
	国庫支出金	393,671	675,953	577,283	7,623
	県 債				
	その他(繰入金・諸収入)		205	8,099	3,657
	一般財源	2,916	3,158	3,192	3,295
	決 算 額(B)	275,111	123,947	503,652	
概 算 人員数(人)	2.35	2.35	2.35	2.35	
概 算 人員費(C)	19,545	19,406	19,406	19,406	
概 算 事業費(B(A)+C)	294,656	143,353	523,058	33,981	

成果目標の達成状況					
項目	現況(H23)	H 2 4			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	444ha	485ha	555ha	達成	772ha

目標に対する成果状況	<p>実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積は、パン・中華麺用小麦新品種や豆腐加工適性の高い大豆新品種の作付面積が増加したことにより目標を達成することができた。</p> <p>(需要対応穀物地域体制整備事業交付金については、H23からの繰越額554,640千円(JA上伊那乾燥調整施設、JA松本ハイレンド育苗施設、JAながの そば乾燥調整施設)</p>
------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>・平成25年度は主要穀物の生産体制の強化を図るための技術研修会の開催や、雑草イネ防除対策技術実証事業により長野県産米の品質向上を図る。</p> <p>・今後とも生産性及び品質の向上、安定した生産量の確保等により、実需者から期待される生産物を安定して供給できる産地の育成を図る。</p>
---------------------	--